



零二 (055)

かつて全山に308もの僧坊が栄えたといわれており、霊峰として言から多くの人に愛されてきました。

御山ルート途中には、当寺を御しせる雷神社と堂や、阿久良（あくら）新集（あらたあつ）自然（しぜん）館（かん）（ほごら）があり、また、頂上付近にはブナの巨木がそびえ立ち、自然を満喫（みんくわ）させてくれます。


 富士山如き大徳王院
 奈良時代、関山と云われる古刹
 (ごさつ)です。鎌倉時代に
 作られたといわれる「木造十
 字観音立像」と「木造清浄土
 人生像」はともに国指定重要
 文化財です。
 秋になると健康の力カエテ、



雷山観音前バス停から1.2 km程登った所にあります。名称の由来は定かではありませんが、雷山千如寺を開基した「清賢上人」に由来しているのかもしれない。

雷神社 (中宮) は、華山周自然歩道の途中にあります。樹齢300年を超える栗の幹に刻まれたイチョウの大木があり、秋の紅葉時期のイチョウは鳥の目です。

雷山自然歩道の途中、清閑の境の奥の所に雷神社(上宮)があります。ここから山頂までは約30分です。休憩ポイントとなります。

雷山周回自然歩道の途中、
中腰に水門と石列が構築さ
れていています。7世紀頃造ら
れた山城の跡と考えられて
います。当時の高い石造技
術に驚かされます。

井原山 (983m)

井原山・雲山には、香から製にかけたいろんな花が咲き、希少な植物も自生しています。特に井原山は「花の名峰」とも呼ばれ、植物好きの登山者で賑わいます。

超えた財産でもあります。このままた後世に受け継がれるよう、自然環境を大切に守ります。

アンノ瀨（落差13m）は、井原山自然歩道の途中、標高450m程の所にあります。名前の由来は、かつて瀨のそばに滝があったことから「滝の瀨」や下流の瀨に対して上流の瀨を兄（あに）の瀨と呼んだためなど定かではありません。



水無登山口から10分程
登った所に湧水が出てい
ます。湧水が出ていて
いるのがつくろいに似てい
ることから、地元では「こ
うそう岩」と呼んでいます

洗谷ルートは、昔から登山や沢登りで親しまれていますが、分岐点や急峻な箇所が多く、降雨によりルートが不明瞭になり易い所です。登山の際には以下の点に注意しましょう。

- 登山靴の着用品など装備を整え、経験者と同じく、単独行は避けましょう。
- クレムや目印のテープなどがありますが、必ず地図とコンパスで確認しながら登りましょう。
- 落石の危険があるので、ロープ箇所を登るときは、前の人が登り終わるまで、崖面から離れましょう。
- ロープは愛好者が設置したもので、市では管理していません。十分注意してください。



右側を登ります。
稜線まであと30分

